

5月13日（水）  
総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅東側開発について
- JFAアカデミー福島への取り組みについて

総務文教  
広野駅東側開発

費用の増加を抑え効率的に

新型コロナウイルス感染症の影響による未だのかけ橋へのエレベーター設置の延期や、住宅地開発についても事業者の手続きに遅れが生じたため令和4年度の春の販売開始を目指して進めていくとの報告がありました。

また、新たに学校法人昌平賢と高等学術機関の誘致について協議していることについて説明を受けました。

委員からは、高等学術機関の敷地として検討している場所や教育の内容、工事を延期した場合に補助金は今年度同様に採択されるかなどについての質疑があり、高等学術機関の敷地については、富岡土木事務所跡地や現在NIPPOに貸し出している土地を検討しており、教育内容は廃炉やイノベーション・コースト構想を担う人材育成に関する教育内容が検討されていると報告されました。

また、土地を貸している企業等に対し景観等へ配慮するよう指導すること、工事などの期間が延びたことによる費用の増加を極力抑えられるよう、効率的に事業を進めることなどを要請しました。

# 委員会 報告

を報告します



仮置きしている盛土

総務文教  
JFAアカデミー福島

より良い教育環境整備を

震災以降、静岡県御殿場市に一時的に移転して活動しているJFAアカデミー福島について、令和3年度に広野町で活動を再開することに向けて今年度に生徒の募集を行うこと、寄宿舎としてサッカー支援センター格を使用すること、アカデミー生が進学することが想定されるふたば未来学園高校に外部指導者1人を配置することなどの説明がありました。

委員からは、国の機関などに貸していたサッカー支援センターの修繕費用や、アカデミー生を迎えた際の広野中学校のクラス編成などについての質疑がありました。

町からは、広野町サッカー支援センターの修繕費用等については、現在、修繕内容や不足する備品などの調査業務を行うための補助金を申請している段階で、修繕費用は概算で1億円規模となることなどが予測され、費用負担などについても関係機関と調整を進めていくとのことでした。

また、委員から御殿場市で使われている備品の管理を適正に行うこと、中学校の生徒とアカデミー生が共に高め合って成長できるような教育環境の整備などについて要請しました。

# 委員会

各常任委員会の活動状況

## 道

の駅整備については撤退も視野に入れている

建設予定地で出現した硬い岩盤への対策などについて新型コロナウイルス感染症対策の影響で関係機関との協議が進んでいない状況であるとの説明を受けました。

委員からは、岩盤掘削処理の困難さや予算増額への懸念から、撤退も考えるべきとの意見や、設計見直しに対する費用負担、工事現場の安全対策や排水の流末対策等についての質疑がありました。

町からは、設計変更や硬い岩盤の掘削を進めるにはかなりの費用の増額が懸念されるため、今後も国との協議を続けていくとの回答でした。

## 防

災計画  
避難先の拡充を

5月に改訂された原字力災害避難計画や、3月に全戸配布された新しい防災マップなどについて説明を受けました。

各委員からは、感染症予防を含む避難者輸送、安定ヨウ素剤の運搬などについての質疑がありました。

町からは、避難者輸送については県等に要請

## 福

祉サービス  
福祉施設の様子は

高齢者への対応として町内の高齢者や介護認定者の人数などの現状や、実施している事業、及び新型コロナウイルス感染症対策の状況について説明を受けました。

委員からは、高齢者の健康状態、広桜荘の利用者数、新型コロナウイルスの抗体検査に

町からは、高齢者の健康状態について、緊急事態宣言を受け電話での安否確認をしております、体調が悪化したとする状況はないこと、広桜荘の利用者数は、新型コロナウイルスの影響で利用を自粛しているため利用者は減っていること、新型コロナウイルスの抗体検査については、国で検査を開始する情報もあることから今後、検討していくなどの説明がありました。

## 農

林業振興  
更なる支援と環境整備を

町内の農林業の現状や、農林業振興のための全般的な取り組みについて説明を受けました。

委員からは、畑作のイノシシ被害対策支援、県営広野地区農山村地域復興基盤総合整備事業、水源かん養保安林の指定に基づいた森林整備などについて質疑がありました。

町からは、畑作のイノシシ被害対策支援は、県や普及所と相談しながら検討し、県営広野地区農山村地域復興基盤総合整備事業については、県と連携して適切なものにするよう対応し、水源かん養保安林については、福島森林再生事業等を活用しながら保安林の整備を進めていきたいとの回答でした。



亀ヶ崎地区を視察

5月14日（木）  
産業厚生常任委員会

調査件名

- 道の駅整備について
- 防災計画について
- 農林業の振興について
- 福祉サービスの充実について
- 環境中の放射能汚染について

建設予定地で出現した硬い岩盤への対策などについて新型コロナウイルス感染症対策の影響で関係機関との協議が進んでいない状況であるとの説明を受けました。

委員からは、岩盤掘削処理の困難さや予算増額への懸念から、撤退も考えるべきとの意見や、設計見直しに対する費用負担、工事現場の安全対策や排水の流末対策等についての質疑がありました。

町からは、設計変更や硬い岩盤の掘削を進めるにはかなりの費用の増額が懸念されるため、今後も国との協議を続けていくとの回答でした。

高齢者への対応として町内の高齢者や介護認定者の人数などの現状や、実施している事業、及び新型コロナウイルス感染症対策の状況について説明を受けました。

委員からは、高齢者の健康状態、広桜荘の利用者数、新型コロナウイルスの抗体検査に

町からは、高齢者の健康状態について、緊急事態宣言を受け電話での安否確認をしております、体調が悪化したとする状況はないこと、広桜荘の利用者数は、新型コロナウイルスの影響で利用を自粛しているため利用者は減っていること、新型コロナウイルスの抗体検査については、国で検査を開始する情報もあることから今後、検討していくなどの説明がありました。